

魅力あるまちづくり若者会議（第5回）会議録

日 時 平成26年11月18日（火）午後5時から
場 所 中野市役所32号会議室
参加者 コーディネーター 東京成徳大学 三枝准教授
中野立志館高生徒 1人（2人欠席）
中野西高生徒 3人
会員 9人
傍聴者 0人
報道 2人（北信ローカル、テレビ北信）
主催者 政策情報課長 事務局担当2人

1 開会 蟻川会長

2 コーディネーター

若者会議も5回目を迎えました。今日は、地元の高校生の皆さんに、タイトルとして「未来の中野市と自分の将来について」ということで、これに拘らなくても良いのですが、自分の考えている将来、中野市の将来の話をしてもらいたいと思います。若者会議には、若者が集まっているのですが、もっと若い高校生の話を聞いて、メンバーに自分の考えの参考にしてもらうという趣旨で行います。

会議の段取りとしては、今日は4人の高校生が来ているので、それぞれ順番に話をして頂き、事前に順番を決めさせてもらったので、最初は西高の生徒さんをお願いして、次に立志館の生徒さんに話をしてもらいます。

一人一人の発表の後に、少し質問を入れるのは結構ですが、最後にまとめて、メンバーの方からの質問や意見、感想を述べるという形で進めて行きたい。高校生がいるので7時には終わりたいと思うので、集中して話を聞いてください。

今日は、紙ベースの資料やプロジェクター用の資料もないので、キーワードだけは聞き逃さないようにメモを取ってください。

3 高校生との意見交換

高校生

中野西高校の生徒会長をしています。普段は、中野市に住んでいなくて、志賀高原に住んでいるのですが、今後、自分の第二の故郷である中野市をどんどん良くして行きたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

今回、自分からの提案としては、今、若い女性の間で流行っているフレッシュジュース。採れたての果物をミキサーでジュースにする。例えば、農業体験も流行っているので、農業体験をして、そこで採れた作物をその場で、農業体験をした人に飲んでいただく。中野市で栽培している野菜の美味しさを体感してもらい、それがだんだん広がって行けば、PRになる。お客様が中野市に来た時に、コンビニに売

っている100%ジュースとは違う、安心できるものを提供することができる。

周りの人にこんなに美味しいジュースがあると言うことを、親戚の人に勧めたり、親戚の人からまた地域の人に広がって行き、さらに中野市の知名度が上がっていくのではないかと考えています。

コーディネーター

自分で飲んだフレッシュジュースで、売っているものとは違うと思ったことはある？

高校生

沖縄に行った時に、採りたてのマンゴーやパイナップルをその場で100%ジュースに作ってくれて、それを飲んだ時は、本当に美味しいと思った。

コーディネーター

そういった経験から、中野市にも良い果物がたくさんあるので、同じことができるのではないかとこの発想ですね。

高校生

中野西高校生徒会女子副会長で、演劇部の部長をしています。よろしくお願いします。

私は、将来は大学ではなく、東京の方の芸能系の専門学校に通いたいと考えています。中野市の将来としては、人を今以上に呼び込んで行きたいと考えていて、その呼び込む方法として、ゆるキャラが流行っているのですが、今からゆるキャラを出しても、もうたくさんあるので、埋もれてしまうと思う。似たような路線ですが、中野市の萌えキャラを作ったら、そういうものが好きな十代から四十代の人を集められると思います。埼玉の方で、そういうキャラクターを作り地域活性化している例もあります。

具体的には、有名なバラや土びななど、中野市ならではの発信していけるモノがあると思うので、それを擬人化してキャラクターにしたらいいいのではないかと。

そのキャラクターを使って、中野市の観光名所を巡る動画を作ったりすることも一つの方法だと思う。

コーディネーター

萌えキャラってどういうものですか。

高校生

萌えキャラは可愛い女の子であったり、女性向けであればイケメンだったり、いろいろあるのですが、アニメ系のキャラクターです。アニメ系のキャラクターが好きな人はたくさんいるので、うまく行けば外国からも人が来ると思う。

コーディネーター

何となく秋葉原をイメージしてしまうのですが、オタクの人達だけじゃなく、一般の人達も萌えキャラのファンの人が大勢いて人気があるんですね。

会員

ストーリーを作って、動画を作ると言うのは面白いと思った。土人形資料館の近くにある、月の兎のようにストーリーを作れば面白い。

コーディネーター

中野市にはゆるキャラはないのですか。

政策情報課長

公認のモノはないです。

コーディネーター

私的なモノはあるのですか。

政策情報課長

J Aでやっている。

コーディネーター

どういうものですか。

会員

エノキのキャラの、えのたんです。リンゴのアップルちゃんもいます。バラのキャラクターはないですね。

高校生

中野立志館高校から来ました。部活は土木部で、家の模型を作ったりしています。

私は登山が好きで、北アルプスも登ったりしているのですが、山ガールと言って、女の子の間でも登山が流行っています。中野市の山と言えば高社山ですが、市内の人だけじゃなく、県外の人にも登ってもらいたいと思うので、まずは、高社山の登山道の整備をしてほしい。

登山道は二つあって、一つは夜間瀬スキー場から、もう一つが科野の谷巖寺から登るルートがある。スキー場からのルートは登り易いんですが、谷巖寺から登るルートは、上級者向けで、学校登山の時にも、途中棄権の人が出てきたりして、かなり危険なところがあります。そこを登り易くするように整備をしてほしい。

登山する時には、最近ニュースになった御嶽山の噴火もありますが、命に係わることなので、装備がきちんとしていなければいけない。雨合羽とかは中野市のお店でも買えるんですが、登山靴やヘルメットとかの専門用品は市内では揃えられないので、登山、アウトドア専門のお店を誘致してほしいと思います。

ヘルメットに関しては、工事用のヘルメットでも大丈夫なのですが、頭に負担がかかる。できれば登山専用の軽いヘルメットが買えるようなお店があるといいなと思っています。

コーディネーター

今、山ガールというのが流行っているということですが、登っていて女の人が増えていると実感することはありますか。

高校生

あります。

高校生

志賀高原は女性登山者がかなり増えている。男性より女性の方が多い山もある。

コーディネーター

富士山を登るのとは違って、もう少し軽い感じで登山をするのですか。

高校生

軽い感じで登れる山に来る人は、お年寄りが多く、本格的な山に登る人は、若い人が多い。自分の家がペンションをやっているので、グリーンシーズンは、登山のお客さんが来ますけど、最近は、女性二人だけとか、女性グループで来る人が増えています。女性一人だけで来て、山を歩いているお客さんもいるので、山ガールが人気になって来ていると思います。長野のテレビ局でも夏と秋の2回、ツアーを企画している。

コーディネーター

登山する人は、この界限の人じゃなく、東京や大阪の人が来るのですか。

高校生

そうです。今のところ、一番遠くから来たお客さんは、九州の人がいた。

コーディネーター

遠くから人が軽装で来ても、登山用の装備が整えることができる店があれば良いという話。山ガールを集めることができる素材があるということですね。

高校生

中野西高校の男子副会長をしています。よろしくお願いします。

3人から良い話を聞けたと思います。萌えキャラとか登山は一部の人しか来ないイメージがあって、萌えキャラだったら、私の偏見になってしまうんですが、オタクの人しか来ないイメージだったり、登山だったら、山登りが好きな人しか来ないというイメージがあります。

まず、そういうモノを皆に知ってもらうためには、情報の発信をキチンとしていかないと。登山道の整備がちゃんと出来ていても、その情報を発信しなければ、誰も知らないから、登山に来ないし、萌え

キャラを作っても、誰にもその情報が伝わらない。例えば、県外でイベントを開いて、中野市をアピールすることができれば、情報を発信することができるし、地域の特産物をアピールできると思います。

あと、この辺は山が多いので、交通が不便。東京に行くにも、長野駅で乗り継がなければ行けない。

自分は将来、県外の大学に行きたいと思っていますが、帰ってきた時に、余りにも中野市が変わっていたら、これが自分の育った街なのかと思ってしまうので、今の中野市を保ちながら、徐々に発展できたらいいと思います。

コーディネーター

面白いことや、良いモノがあっても、それが県外の人に届いていないという問題意識があります。どうやって届けて行くかということが大事で、ホームページはもちろん、もう少し、リアルな場面で外に情報を発信することもやってもいいのではないかと言う話でした。

交通の便の話があったが、これは中々難しい。この不便が良い所でもあり、悪い所でもある。大事だと思ったのが、あまり中野市が変わらないで欲しいという思い。住んでいる人にとってみると、自分の故郷だから、その故郷が大きく変わることはない、否定的という考えですね。ただ、逆に変わらない中野をどう売るかという話になってくる。それはやり方次第。

前の人の話を聞いて、その話を繋げていくというのは、凄いいと思います。

高校生らしい新しい話も聞くことができた。色々な意味で参考になったと思う。せっかくの機会なので、質問、意見、感想、メンバーの方から少し問い掛けをしてください。

会員

この前、テレビで萌えキャラのことをやっていた。それは店先で宣伝してあって、お年寄りが、萌えキャラのお蔭で儲かっているというような話をしていたので、街全体がそうなればいいと思う。バラまつの時に、ローズタウンというイベントをしているのですが、現状では協力的な人とそうではない人があって、街の活性化のためにやっているのに、全然、協力してくれない人も中にはいるようです。今の状態だと、街全体でやろうとしても、広がって行かないと思う。

コーディネーター

街全体で協力しないと、萌えキャラをしても、中々広がらない。

高校生

萌えキャラの宣伝効果はわかりませんが、箱根駅伝で一位になった大学は、宣伝効果が3億円、ゆるキャラだと、一位で宣伝効果が2億円らしいです。

会員

オタクの人は、お金を使ってくれる。

会員

40万円以上使う人もいると聞いた。CDだったら、保存用やら何やら3枚、4枚を買うらしい。

高校生

萌えキャラが歌う曲や、動画、特典が付いていて、何枚も買う人がいる。

会員

西高の会長さんは山ノ内出身と言うことで、渋温泉がモンスターハンターで有名で、電車でキャラクターを描いて盛り上げていますが、感想はどうですか。

高校生

あれは、最初の頃は、期間限定だと思っていました。モンスターハンター3が出た時に、その舞台が渋温泉だったということで、最初は冬だけだと思ったら、長い間やっていた。渋温泉とは全く関係ないモンスターハンター4Gが出て、渋温泉でモンスターハンターのイベントをしていて、結局、最終的には人が来なくなってきた。いまでは余り効果がないと思います。

やはり、その時のその舞台でイベントをやれば盛り上がるが、それをずーっとしていたら、集客は下がってしまう。最初の頃は、駅や電車の中がモンスターハンターをやっている人ばかりだったり、バスもその客で満員だったりしたが、今では以前と変わらない。一時的なイベントで、ゲーム関係のイベントは長期間でやるものではないと思う。

会員

モンスターハンターも渋温泉だけが舞台ではなく、先ほどの萌えキャラも秋葉原でやっていた。やはり、その土地にあったモノが長続きするようなイメージがあって、先ほど、高校生の話を聞いていて、土びながあると思った。

ひな市で土びなを販売する時には、人がたくさん来る。もっと土びなを強く押してもいいのかなと思う。ただ、私自身土びなのことを良く知らないから、魅力が何かはわからないんですが。

中野市で、それだけ人を呼べるモノがありそうな感じがする。もうちょっと上手く活用して行ければ、良いと思う印象を受けます。

会員

土びなは、一年に一度売るから価値があって、年間を通して売ると、価値が下がってしまう。まとめて作って、ひな市で売っている。

会員

その日にしか買えないということで、人気がある。

コーディネーター

そのひな市には県外からも人が来るのですか。

会員

来ます。

コーディネーター

活用できそうなイベントが既にあるということですね。バラもそうですし。

萌えキャラを一過性で終わらせるのではなく、長く続けなければならぬ。この類の話は長く続けるのは意外に難しい。

高校生

ゆるキャラだったら、ゆるキャラグランプリで知名度があるが、萌えキャラもそういうことをやっていかなければ、継続が難しいと思う。

会員

ゆるキャラは、熊本県のくまモンから始まって広がっているけど、クマモンは、権利収入をもらわずに、商品につけて売って大人気になっている。群馬県のぐんまちゃんも今年一位になっていて、そんな感じで謳っていると思う。

長野県だとアルクマがいて、イベントには出てくるけど、商品のパッケージに使ってくださいという話がない。だから、長野県民が全員、アルクマを支持するというのがないので、今年は、去年より順位を落としてしまった要因だと思う。

中野市で作るとしたら、中野市民が一致団結するモノを作らなければいけない。バラに絡むゆるキャラだと、バラまつりでしか使えなくて、コストパフォーマンスが悪い。中野市農協でもやっているけど、難しいと思う。

コーディネーター

えのたんは成功、失敗という評価はどのようなのですか。

会員

まだ2、3年なので、評価はわからない。都内の販売の時に、えのたんを連れて行ったり、アイドルとコラボして頑張っている部分もあるので、使われてないことはない。これから、頑張っていけるとは思う。

コーディネーター

もっと飛躍的に人気のでる仕掛けを考えなければ、今のままで良いとも思えない感じに受け取ったんですけど。

会員

エノキ氷を始めキノコの露出を頑張っていて、テレビで宣伝されてから、一気に販路が増えて行った。えのたんはえのたんで頑張っていると思う。

コーディネーター

高校生の間でもえのき氷という話が出る程、えのき氷が人気のようなので、もう少し売って行けばいいと思うけど。中野市が健康な街として。

いろいろな話が出て、ヒントになる視点があったと思うが、みなさんどうですか。

会員

フレッシュジュースはいいと思う。価格設定はいくら位を考えているのですか。

高校生

最初は、農業体験の中に織り込むことからスタートして、その様子を見て、評判が良ければ、そんなに高くない値段で売り出す。高くないといっても、農家に失礼のない値段で売り出す。

会員

新潟で買った、洋ナシの100%ジュースが500mlで一本1,800円だったけど、美味しかった。高いけど、付加価値を付ければ売れると思う。

高校生

フレッシュジュースだと果物が一般的だけど、例えば人参や小松菜、中野のアスパラとかを100%ジュースにしてみて、自分たちが美味しいと思ったら、売ってみる。

会長

群馬県の友達にリンゴを送るが、その家でもリンゴのフレッシュジュースを作っている。農家の商品にならないリンゴがあると思うが、どのくらいの割合であるのですか。

会員

J Aに出荷すると、規格が厳しくて、リンゴのてっぺんに傷があつてはいけなとか、色味も全部そろえるように言われる。軸が抜けてしまうと、それで一級落ちとか。かなり厳しい。形が悪いとか、肌が悪いとかも格外になる。だから、加工に出すリンゴの割合はあると思う。

会員

1割から2割くらい。

会員

そうであれば、ジュースにすれば見た目が全く関係ない。もちろん今やっていると思うが、ジュースとして売り出すのであれば、可能だと思う。

会員

規格外であっても、家庭用として売っている。

会員

実際、農家でジュースを売っている例ってあるのですか。

会員

ジュースを販売するとなれば、保健所の資格を取らなければいけない。

会員

手間や販路、人件費がかかる。自分が全部やるとなると、とてもできない。

会員

あるがままで売れば良いのですが、それにひと手間入れるとなると難しい。

コーディネーター

この前、ジュースを売っているって話を聞いたけど。

会員

専門の業者に加工を任せている。

会員

農家自身が加工所にリンゴを持ち寄ってジュースを作り、そのジュースを消費している。

会員

販路を見つけてもらえれば、その専門業者に加工を依頼すればいい。テレビでやっていたのですが、みかん屋さんがみかんジュースを作っていて、それがモンドセレクションを受賞し、それを継続してやっていたら、2、3年後に2億円が4億5千万円にまで上がった。みかんジュースと言えば普通はすっぱいのですが、そのみかんジュースは甘いらしいです。宣伝をうまくやって、そういうモンドセレクション受賞という付加価値を付けることができれば、リンゴジュースも売れて行くとは思う。六次産業化するために、調理資格を取り、加工施設を作る設備投資が大変である。

高校生で上手くやって提供してもらった方が面白いと思う。

コーディネーター

面白いとは。

会員

農業高校だと、農作物の加工をする。ジャムやジュースなどに。立志館にあるのかどうかかわらないけど、高校で加工をして販売してもらおう。高校生が作ったモノって人気があったりする。中野市と言うブランドをアピールできる。

高校生

立志館にはそういう施設はないです。

コーディネーター

さっき話していたフレッシュジュースというのは、ビン詰ではなく、その場でもぎたての果物をジュースにして飲んでいただくということですか。

高校生

まずは、農業体験で収穫を体験して、その採れたての作物をジュースにして飲んでもらい、作物の本来の美味しさを味わっていただく。ビンだと中々買ってくれないから、まずは簡単に飲めるパックから販売してみてもいい。

会員

確かに、商品として販売するのは難しい状態だと思うが、体験し、その場でジュースにして飲むと言うこと自体は、中野市の果実であり、野菜であり、情報発信できる良い場になると思う。それが広がって行ってから、販売に繋げてもいい。地元をアピールできる良い考えだと思う。

高校生

自分のアイデアは、テレビでシャインマスカットを栽培している農家のお勧めの食べ方として、採ったシャインマスカット一房をそのままミキサーに入れ、100%ジュースを作っていたのを見て考えた。シャインマスカットだと、当たり前かもしれませんが。

会員

当たり前じゃない。そんな贅沢なことをした農家は誰かと思った。凄いこと。

会員

栽培している農家だから、シャインマスカットをジュースにできるけど、買ってまではできない。

高校生

シャインマスカットをジュースにすることはできないので、農業体験を重視したモノができないか。

コーディネーター

今、農業体験が増えているような話があったが、実際に増えているのですか。

高校生

東京近辺の農家での農業体験は増えているようである。都会で生まれ育った人は、農業に興味がある人が多くて、一度やってみたいとか思うらしい。力仕事を楽しみにしていて、お金を掛けてでもお客さ

んが来てくれる。農家としても自分たちの利益になるし、体験した人たちも楽しんでくれる。そこでできた作物を体験してくれた人にあげる。

自分たちが作ったコメの成長過程をユーチューブにアップしていたり、農作業の過程の動画がユーチューブに上がっている。

コーディネーター

小学生や中学生の農業体験旅行があったのですが、大人の農業体験も増えていると。

高校生

最近は大人や、家族連れが多い。小学生とかは少ない。小学生は理科の勉強でやる程度である。

コーディネーター

中野で、農業体験に取り組んでいる農家はあるのですか。

会員

保育園児がさつまいもを作って、それを焼き芋にして食べたと言う記事が載っていた。大豆作ったりしている家もあるみたいだ。

高校生

志賀高原で、大豆を育て、それをプリンにして販売したが、結構人気だった。野菜で作ったプリンが人気なのかと。

会員

健康に関係すれば、値段が高くても買う。えのき氷も健康に良いと言われ、それが宣伝になって売れている。

コーディネーター

大豆にしても、それまでのストーリーが大切。無農薬で大事に育てているとか。大事に育てた希少価値のある大豆であることがバックにあって、それをプリンにして売るとかになれば、付加価値が付く。

高校生

フェイスブックの宣伝効果があったみたいです。

コーディネーター

何でそんなに詳しいの。地域に愛着があるからなの。

高校生

中野市みたいに人が多かったら、余り感じないが、自分が生活している地域は人が少ないから、自分

一人でも頑張っていきたいと思っている。

コーディネーター

ここで育てているモノを上手く、商品化することもあるし、農業体験、情報発信もある。ユーチューブなどの新しいツールを上手に使うと、結構、広まる可能性があると思う。逆に言うと、実際に農業や事業に携わっている人は、中々できないという感じもあるのですか。

わかっているけど、している手間がないとか、ハードルを越える障壁を感じているのですか。

会員

個人でやるとすると、単純に面倒くさい。やるとすれば、家族の協力がなければならない。それをやっている間は、自分の農作業が止まるので、忙しい時は、もちろんダメです。農業体験をやっている人は、もぎ取り体験とかの観光に力を入れてやっている。

コーディネーター

端的に言うと、農家に情報は入ってくるけど、自分達だけでできる訳でもないし、それをやらなくても十分生活ができるから、そこまでは中々手が届かない。

観光や他の産業の人と協力してひとつ作り上げて行くことができてくれば、それに乗りたい感じなのですかね。

会員

ある程度目安が付けば、乗りやすいのですが、個人で観光をやっている人も、人が全く来ないとなると、やるだけダメ。ある程度の採算が見込めなければ、一步踏み出せない。

コーディネーター

ビジネスにリスクは付き物だけど、どこまで、そのリスクを減らした形で持って行けるかという話にはなる。

地域おこしの多角化。ひとつで考えていくのではなく、色々なモノを繋げていければ、面白いストーリーができる感じがする。山登りも上手く繋がって行くといい。

会員

山登りに限らず、専門的な用品を売っている店って中野は少ない。確かに需要がないのかも知れないけど。専門的に特化した店があれば、それに興味ある人は足を運ぶと思う。これと言ったアイデアはないけど、そういう特化した店が一つあるだけでも目玉になるのではと思う。

コーディネーター

商圏を広くとれる専門的な店、サービスがあれば、また違った展開があるかも知れない。

会員

スキーシーズンは信州中野インターを降り、国道292号を通過して志賀高原に行く人が多いと思うが、その通りに、スノーボードやスキーの専門店があればと思う。夏はスキー用品ではなく、山登りに使える用品を売れば面白いと思う。

コーディネーター

スキーに行く人と中野はどこって話をすると、志賀高原に行く途中に通っていたんだって話になる。要するに通過するけど、中野に目的地がないから、通過するだけ。中野に何かあると、スキーに来る人に、中野の存在感を出せるかも知れない。

キャンプ場とかあるのですか。

高校生

メジャーなキャンプ場は木島平のカヤの平キャンプ場があるが、ほかにはあまりキャンプ場はない。

会員

中野は、隣接している志賀高原や小布施町が有名で、通過されてしまう街である。神奈川県藤沢市に行ったことがあるのですが、茅ヶ崎と鎌倉に挟まれているから、余り知られていないらしい。藤沢市ほど大きな街でもスルーされてしまう。

会員

若い人たちって、志賀高原にスキーに行き、帰る時に何があったら、中野に寄って行こうとなるのだろうか。そういうモノがあれば、中野に寄ってくれる。自分たちも旅行に行くと、目的があるから、寄ろうとなるけど、なければ通るだけである。

会員

軽井沢に行けば、アウトレットに寄るみたいな場所だよね。

会員

個人によって違いはあると思うけど。

会員

自分が思うのは食事ですね。スキー目的で志賀高原に行き、帰り道で寄るとしたら、緊急で何か必要になった、お腹が空いたからご飯を食べる。眠くなったから泊まるの3パターンだと思う。その中で一番、寄りやすいのはご飯だと思う。ご飯も漠然としています。

会員

中野ってこれといった有名な食べ物ってないしね。

会員

B級グルメないし。

高校生

エノキ氷があるけど、特別美味しいモノではないし。

会員

エノキ氷を使った料理と言うことをアピールするのもありだと思う。

会員

エノキ氷を使ったソバや、味噌、レトルトのカレーもある。エノキ氷入りのお菓子もある。ちょこちよこある。

会員

エノキ氷専門のお店があれば。

高校生

今流行のジビエ。鹿肉とか。知り合いから鹿肉をもらった。今、自分の家で鹿肉料理を作っているが、調理方法を工夫すれば、ちょっと固い牛肉のようで美味しい。

会員

獣臭がするという先入観がある。

会員

鹿肉は牛肉に近い味がする。

会員

今の季節のジビエは脂があって美味しいけど、春のジビエは脂がなく、ただ獣臭しかない。

会員

先ほど、情報発信と言っていたけど、今見るとしたら、フェイスブック、ライン、ユーチューブですか。

高校生

テレビも大きいと思う。芸人に専属になってもらえば、その芸人のファンが来てくれるのではないかな。

高校生

志賀高原も一度、女性タレントをイメージキャラクターにしたけど、失敗した。何もPRしてくれなかった。芸能人を使うとしたら、影響力のある人を連れて来なければ失敗する。

コーディネーター

中野市出身の芸能人っていないのですか。

会員

久石譲、西丸優子などがいる。

会員

今は、久石譲の娘さんが色々としてくれている。まずは中野市を知ってもらうための情報発信としては、長期的にはならないかも知れないけど、萌えキャラを作るとか。一部の人しか呼べないとしても、一度注目されると違うと思う。万人が注目してくれるモノは難しいので、特化した人たちを呼ぶのもいいと思う。アニメの背景に使ってもらうとか。

会員

上田や松本は映画の撮影を招致して、それをアピールしている。

会員

松本には、市役所ではないけど、そういう撮影会社を呼んでくる組織（松本観光コンベンション協会が松本ロケーションマップを作成している）があるらしい。

会員

やはり名物の食べ物がなければ。戸隠ソバは戸隠で食べるから有名になる。

会員

食べ物は強いですね。

高校生

安曇野に卵かけご飯の店がある。卵の直売所だけど、そこで一杯350円で卵かけご飯が食べられる。卵かけ放題で、ごはんはお代わり1杯だけなのですけど、大勢の人が訪れていた。

会員

特別な卵なのですか。

高校生

特別な卵ではないのですが、色々な卵の種類がある。ジャンボ卵や、枝豆で育てた緑色の殻の卵とか。地元で採ったモノを使った惣菜を売っていた。

コーディネーター

郷土料理でこれと言ったモノはないのですか。

一同

イナゴ、根曲り竹、えのき氷…諸々

関口

先日、テレビを見ていたら、肉に果物を染み込ませたりすると、足りない栄養分が補われて、体に良いといった。中野市は果実が採れるから、それを絡めた肉料理をアピールできたら、いけるかなって思った。すぐに実践できるモノではないけど。

高校生

最近フルーツドレッシングが流行っている。

コーディネーター

農協に、そういう商品開発や製品開発をしている人はいないのですか。

会員

直轄ではないですね。

コーディネーター

商品開発をしていかないと、新たな名物料理が生まれて来ない。高校で商品開発はしないの。

高校生

していませんね。

(それぞれ話をし始めた)

コーディネーター

自分たちで良いものを作るということは大事だが、それをどう知ってもらうかのほうが大事である。

作り上げるまでは、やりようがまだありそうだと思う。年配の人は、情報を伝えるのが遅いから、若い人に引っかかる情報発信の仕方が大事で、今はスマートフォンがツールとなる。

高校生や大学生が面白いと思ってくれる情報を密度が濃く、頻度良く伝えることができれば、それが年配の人に影響を及ぼし、広がって行く。情報の伝わり方を勉強して、流し方を工夫すれば変わるかも知れない。

ゆるキャラの話が出たが、ごく一部の人でいい。日本で一億人いれば1%でも100万人になる。これは結構大きな人数である。だから、全部の人に伝えようとするのではなく、特定のカテゴリーを狙って行くことも十分インパクトを出せる方法だと思う。一部の人もターゲットになり得る。全方位で行く

必要もない。逆にターゲットを絞り込んで行く必要がある。

先ほどの話を聞くと、山ガールに的を絞ってもいいし、スキーストーカーに的を絞ってもいい。しぼり方も色々ある。絞り込む作業は大事である。

高校生

志賀高原観光協会のツイッターで今朝流れていたコメントを見ると、「七年ぶりに志賀高原に行くけど、楽しみだ」と書かれている。そう思ってもらえるように、PRできたらいいのでは。ライブカメラで撮ったスキー場や道路をアップしている。

会員

ツイッターに取り上げられるには、中学生や高校生が集まるイベントでなければならないと思う。農協でイベントをしても、来るのは家族連れ、お年寄りが多い。若い人は見たことない。若い人が来るイベントはショーン祭りやえびす講だったりする。他の何かを売りたいというイベントで、若い人が来る印象がないから、ツイッターに上がるイベントは余りないと思う。

コーディネーター

逆に、お年寄りばかりのイベントに、若い子が来る仕掛けを作ると、客層が変わる可能性がある。

会員

ターゲットが分かれてしまう。お年寄り向けのお祭りなのか、若い人向けのお祭りなのか、それによってまた違うので。

コーディネーター

子どもをターゲットにしたイベントはどんな仕掛けがいいだろうか。

高校生

妖怪ウォッチ。屋台や、くじ引きも人気がある。

コーディネーター

流行モノに飛びつくことは、良い悪いはあるが、若い人の中で人気のあるモノを取り込んで行くことで、もしかすると、今までの考え方や路線で当たり前のようにやっていたことが、がらりと変わって、発信力が変わる可能性があるかも知れない。

会員

単独でスキーに行く人に向けて専門店を作るのも大事ですけど、そこでイベントを開催するような仕掛けをして行かなければ、ただモノを売っているだけになってしまうので、若い人の足止めができるような仕掛けをしていく必要があると思う。

コーディネーター

子どもがいると、普段の行動パターンは子どもが中心になって動く。お爺ちゃん、お婆ちゃんだと孫が中心になって動いたりする。今の社会では、子どもが持つ影響力は強い。そういう所を上手く使うという手は十分あると思う。

会員

人が集まっていると、そこに行きたくなる。特に子どもはそう。賑やかなところがあれば、行きたくなる。

会員

流行とかじゃなくて、子どもが好きだと思うのは、働く車だと思う。トラクターとか。そういうので人が集まらないですかね。それを基に、トラクターに乗る萌えキャラに持って行ったりして。

会員

子ども達をトラクターに乗せたら、喜んでいた。

コーディネーター

こういう色々なアイデアの広がりが出てくるといい。他のモノに結び付けたりすれば発展して行くと思う。ひとつでは無理だけど、繋げて行くと良い形にもなるし、協力する力が出てくれば、単独ではできないことができるようになる。

高校を卒業したら、東京に行ってしまう人が多いと聞いて、東京に行ってしまった郷土愛の持っている人達に、中野の情報を発信して、それを更に発信してくれる役割を担って欲しくないかと思っている。

各学校250人位3年生がいて、500人が毎年卒業して、その半数が東京に行ったとしたら、その人達に情報発信の役割を担ってもらえればいい。SNSみたいなツールを使って、中野の美味しいモノを発信してくれる仕掛けができれば、面白いことが発展的に繋がって行くような感じがする。少なくとも今は、「中野ってどこ」となるが、それを解消して行くために、出て行った人と、どのようにネットワークを構築するかが大事な事。今まで、そういう所を追いかけていないと思う。ちなみに、高校の先輩達が、今どこで何しているかわかる？

高校生

仲が良かった先輩ならわかるが、他の人はわからない。

コーディネーター

高校だと3年という縛りがあるから、その前後しかわからないと言うのはある。ひとつは、何をどう作って行くか、ある良いモノにどう関心を持ってもらうか。その仕掛けをどう作るかが大事だと思う。一番難しいのは、実際に中野のモノを買ってもらおうとか、来てもらうというアクションに繋げるところである。

会員

中野を出て東京にいるけど、中野のことをPRする為なら、休日一日使ってもいいよっていう郷土愛が強い人はいると思う。そういう方を募って、きっかけ作りで、中野の農産物を売ってもらうボランティアを作り、その場でパンフレットを配り情報発信するのも案だと思う。ただ、募って、そういう人が集まってきてくれるか、不安はあるけど。

コーディネーター

東京に出ってしまうと、郷土のために何かすることをやりたくないのかな。東京の生活での楽しさに紛れてしまうかも知れない。

会員

前回、治田先生の講演で、上田市の地元カンパニーが、もっと上田のことをアピールしようとしていると聞いていた。それを聞いて、いいと思ったのは地元のギフトを作ること。

結婚式の時に、地元のギフトを参列者の方に配ってアピールするとか。こういうことが一つのきっかけ作りになると思う。

コーディネーター

結婚式の引き出物のカタログギフトの中に、地元のモノを入れると言うイメージですよ。

会員

農家であればリンゴやブドウ、商工会議所であれば味噌などあるので、そういう結婚式の時に、カタログギフトを配ることで中野のことを知ってもらえる。

コーディネーター

一つのアイデアとしては悪くないですよ。結婚式だけではなく、色々なイベントの時に、必ず地元のモノをPRする場として使える仕掛けをつくる。中野の情報発信をもう少し上手に、インパクトのある形でやっていくことは大事である。そういう仕掛けづくりを、この若者会議のメンバーでやるとしたら、必ずしも何かを作るかではなく、どう情報を発信するかというアプローチの仕方を考えることも良い。

高校生の視点は、私たちの視点と違うというのが正直な感想で、今日は新しい着眼点を得られた。ゼミの学生が、ゲーム感覚でできたら良いという話をしていたが、そういう感覚はこれから大事だと思う。楽しみや面白さがないと、人を惹きつけられない。一過性の流行り廃りを追いかけるというのは、本来的には難しいことであるが、本質的な部分を追いかけることができれば、それは大事なこと。

新しいことをしても、それはすぐ陳腐化してしまう。1回やったら、それが5年、10年大丈夫と言うことは有り得ない。日々、新しいことを取り入れることを考えなければならない。大変だが、人を惹きつける努力をし、知恵を絞ることは一回だけでは終わらない。

志賀高原も色々やっているけど、これは誰が考えているの。

高校生

観光協会は関係なく、地元の住民が話し合っ、飲みながら話したりしている。各家族で、この地域を活性化するために、どうするかと話し合っている。

コーディネーター

各家庭でそういう話題が出てくるとは凄いことである。

高校生

焼額山の奥に自宅（ペンション）がある。バブルの時は、お客さんが結構来てくれたが、その後は、全然人が来なくなったが、今はお客さんが増えてきている。志賀高原全体でも上がって来ている。お客さんが増えてくる頃に始まったのが、大蛇祭。

大蛇祭で行っているミス志賀高原コンテストは、一般公募で選び、今のミス志賀高原は普通の会社員の方で、東京に住んでいる。第三者的な視線で志賀高原を見てくれて、良い点や悪い点を指摘している。一般公募でミス志賀高原を大使にするのは、影響力がある。

会員

地元じゃない人の方がいいのかな。

高校生

地元の人、一部しか見えてない。都会の人だと、第三者的な目で他と比較をしながら志賀高原を見られる。

会員

中野西高校で、音楽で有名な人を呼んで講演をやりましたよね。あの感想は。

高校生

講演会をお願いしたのは、朝ドラの「マッサン」のオープニング映像や、**perfume** のミュージックビデオなどを作られた関和亮さんという方です。小布施出身で、中野西高校の卒業生です。

その人の要望で、講師の先生が一方的に講演するのではなく、生徒と対談しながら、話を展開する生徒参加型の講演会でした。

コーディネーター

それは高校生対象のクローズな講演会だったのですか。

高校生

オープンな講演会でした。平日の午後からということもあって、時間のある人しか来なかったが、好評でした。

コーディネーター

中野西高校の講演について質問したのは何か意図があったの。

会員

中野市も音楽で有名な方もいるので、何か参考になると思って。どういう人が講演したのか、興味があった。

コーディネーター

音楽は中野の大きな財産なので、それを活かして行くのは一つのストーリーとしては有り得る。その音楽をどうアピールするかは、色々な売り方が考えられる。

高校生1

(プロジェクターで関和亮氏が作ったプロモーションビデオを流している)
アメリカのOK GOというバンドのビデオも作られています。

一同

これ見たことある。ノーカットで作った映像。

高校生

今、結構有名な方で、先日、テレビでも紹介されていた。

コーディネーター

時間なので、今日はここまでにしたい。

これからの進め方としては、次回12月16日には、皆さんからそれぞれ5分程度で「こんなことをやりたい」と考えていることを話してもらおうと思っている。できれば事前に事務局へ簡単にアイデアをまとめたものを提出するようにしてほしい。

午後7時05分終了